

# てくてく通信No.109

発行日 2023年09月30日

発行 福岡県ウォーキング協議会

<https://www.njsf.net/zenkoku/pref/fukuoka/walk/>

連絡先

新日本スポーツ連盟福岡県連盟事務所

〒811-2121 糟屋郡宇美町平和 1-3-11

TEL・FAX 092-934-0853

e-mail : njsf\_fukuokaken40@lib.bbq.jp

新日本スポーツ連盟福岡県連盟北九州事務所

〒806-0013 北九州市八幡西区清納 1-1-10

TEL・FAX 093-662-9278

e-mail : krc-fn@jcom.home.ne.jp

## 《9月例会報告》

## あちこちで道に迷った四王寺山の散策

神田 孝



9月例会（23日）は、宇美町、大宰府市、大野城市にまたがる四王寺山にある大野城跡を散策しました。

参加者は13名。待ち合わせのJR宇美駅に集合、3台の車に乗り県民の森センターへ。

祭日とあって駐車場には十数台の車がすでに停まっていた。全員揃ったのち、嶋田会長があいさつ。このあと健脚コースとてくてくコースに分かれて歩きました。

昼食時に合流（健脚組は少し遅れましたが）。食事のあと全員で集合写真撮影。

午後はまた、2コースに分かれて歩きました。しばらくして事件が発生。

てくてく組が山の下へ下へと。大宰府の都府楼政庁跡まで下山。迎えに来てほしいとの連絡も電波が通じず携帯は役に立たず。

その間に健脚組は散策を終えてセンターへ到着。そこで事態を把握し、車を出しててくてく組を迎えに行く。

予定より1時間遅れでセンターに到着。無事を確認し、解散しました。



## 古代の山城、大野城跡を歩く

嶋田 良裕

城跡の中心地県民の森センターでてくてく組と別れ、健脚組は、6人(男4女2)で出発。

先ずは歩いて15分の百間石垣、谷部を塞ぐ全長180mの巨大さで、苔むした壁が歴史を感じさせる。石垣の横を土塁に向け山道に入るとクロガネ岩城門跡があり、かすかに痕跡らしきものが残る。野外音楽堂を抜け毘沙門堂へ、四天王の名残りと思われ、正月3日は参拝客で賑わうとのこと。

ここからてくてく組と合流すべく、焼米がヶ原に向かう。無事合流し昼食後、太宰府の街並みと九国博物館の青屋根をバックに記念撮影。

その後再びてくてく組と別行動、土塁に沿って歩く。山中には四王子三十三体石仏が点在、稜線のあちこちで出会う。七世紀築城の城ゆえ、建造物は現存せず、礎石群が往時を偲ばせる。道中、宮崎さんがキクラゲとムカゴを発見し収穫。

いくつかの城門跡を過ぎると、展望が開けた。福岡の街越しに博多湾と能古島が。さらに大野城側に少し下ると、太宰府の防衛線の水城を挟んで基山（城）が見える。上空を福岡空港に着陸するため

に巡回する飛行機が頻繁に飛来するのが、面白く見飽きる事がなかった。

その後、秋になると素晴らしい紅葉が予想されるもみじ谷を通り、ゴールの県民の森へ戻る。

## 《10月例会案内》 「正助ふるさと村と新立山」

宗像市に一角にある正助ふるさと村は、「朝寝、朝酒、朝湯が大好きで身上つぶした」庄助さんと異なり、親孝行が徳川家に知れ、黒田家からは年貢を免除、米100俵をもらった農民の誉です。

正助さんをモチーフにしたふるさと村は、四季折々の植物を楽しめる自然豊かな敷地内には、本館「もやいの家」や円形広場、貸農園などがある。各種体験を行っており、そば打ちやコケ玉づくり等様々な体験ができます。

また、新立山（しんたてやま）は、赤間と宮若市（旧宮田町）笠松地区の市境に位置し、標高は326m。別称権現山（ごんげんやま）。道が緩やかなので登山というよりも森林浴を楽しみながら気軽に登れ、バードウォッチングも楽しめるため、大変人気があり、山頂からの景色は、玄海方面からは響灘・玄界灘を見渡すことができ、鞍手方面からは六カ岳や福智山を、筑前山口方面からは西山・犬鳴山を見渡せ、360度の大パノラマを望むことができます。

日 時：2023年10月29日（日）

集 合：9時30分 JR 教育大前駅

参加費：500円（会員）、1,000円（会員外）

持ち物：弁当、水筒、雨具等

締 切：10月26日（木）

コース：9:45 駅出発～亀の尾酒造～平家塚～正助村 11:00

《てくてくコース》正助村散策（4.95キロ）、《健脚コース》新立山登山（7キロ）

交 通：博多駅 8:35 発—教育大前駅 9:11 着、小倉駅 8:44 発—教育大前駅 9:21

## 10月例会参加申込書

氏 名	
住 所	〒
連絡先（携帯）	
緊急連絡先	
備考	①てくてくコース ②健脚コース

### \* 今後の予定

#### ○11月例会：中津街道を歩く 26日（日）

北部九州における主要道の一つで、小倉で長崎街道、秋月街道などの街道と集結し、赤間関への渡海地・大里から中国路とつながっている。また、中津から南は、宇佐、府内、宮崎へと東九州を貫く日向街道の一部。小倉から苅田、大橋、椎田、松江（しょうえ）、八屋、中津とつづく道で貝原益軒と菱屋平七の二人も歩いた。

#### ○12月例会：福岡市中央区・早良区を歩く 10日（日）